

～がんばる船高生～ **ATTENTION!**

第48回 “船高アクティブリーダー育成プロジェクト”が今年も始動しました!

今年度のテーマは“地域の防災”です。東日本大震災以降も多くの自然災害が発生しました。そこで、今年は災害が発生した際、地域のために行動できるリーダーとなれるよう“防災”がテーマとなりました。今回は、船高アクティブリーダー育成プロジェクトのメンバーを代表して、樽井鴻介さん(2年 常葉中)、菅野瑞稀さん(2年 常葉中)、小山田彩良さん(1年 常葉中)、菅野凱仁さん(1年 船引中)に話を聞きました。



▲左から、樽井さん、瑞稀さん、小山田さん、凱仁さん

— 皆さんが“船高アクティブリーダー育成プロジェクト”に参加したきっかけは何ですか？

樽井さん 僕は中学生の時にボランティア活動を行っていました。高校でも地域に貢献できる活動に取り組みたいと思い、昨年度からプロジェクトに参加しています。

小山田さん 私は高校に入学してから、このプロジェクトを知りました。自分の将来を考えるうえで地域のことや、社会のこと、同年代のみんなと共有できる活動がしたいと思い、参加しました。

— 今年度のテーマについてどう考えていますか？

瑞稀さん 私は今まで“防災”を意識したことはなかったのですが、いつどのような自然災害が起こるか分からないこの時代だからこそ、学んでおくことが大切だと思っています。

凱仁さん 僕自身“人の役に立ちたい”という気持ちがあります。今年1年間“防災”について、さまざまな視点から学ぶことで、地域の方々と交流を深められる機会になればいいなと思っています。

— 今後どんな活動があるのですか？

小山田さん “防災”がテーマですが、夏休みには都路町に新たに完成した植物工場の見学など、田村市をさまざまな角度から“知る”という活動もあるので楽しみにしています。

樽井さん 地域の防災訓練への参加や福島大学未来支援センターの“さすけなぶる講習”というものを受講します。“防災”についての知識だけでなく、仲間たちと“答えのない問題”にどう立ち向かい、将来地域のリーダーとなって貢献するにはどうしたらよいか、しっかり学んでいきたいと思っています。

瑞稀さん 今年度は総勢43人で活動をしています。メンバーの多くは部活動と両立しながら活動しています。忙しいときもありますが、活動を通して学年を超えたつながりや体験の共有ができるので非常に楽しいです！ 中学生の皆さん、ぜひ船引高校に入学して私たちと一緒に“船高アクティブリーダー育成プロジェクト”のメンバーの一員になりませんか？ お待ちしています！

◆大学講義を実施しました！

7月2日、会津大学から北里宏平准教授を招いて大学講義を実施しました。今回の講義では「はやぶさ2から探る地球の水の起源」と題して、ご講演いただきました。小惑星惑星探査機はやぶさ2のプロジェクトの話を生徒は目を輝かせながら聞いていました。大学進学を目指している生徒にとって、大学の先生から専門的な話が聞けたことは、大変貴重な経験となりました。



◆「令和3年度同窓会総会」のお知らせ

今年度は、同窓会総会の隔年開催の年ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施しません。今後の詳しい情報は、船引高校ホームページの「卒業生の皆さんへ」をご覧ください。

●問い合わせ 船引高校同窓会事務局(船引高校内)



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
H P...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp



商店の温かい対応



Tim Case
ティム・ケイスさん
(アメリカ合衆国
ニューメキシコ州出身)
田村市に来て4年目

私が田村市に来て初めて買い物に行った時に、お店の人がすてきな対応をしてくれて、とてもうれしく、すばらしいと感じることがありました。

お店に入ると、何人かの店員さんが買い物をしている私にあいさつをしてくれました。品物を探している、店員さんはすぐに忙しい仕事の手を止めて私を助けてくれました。レジに来ると、レジ係の人がセルフで支払いをする機械の操作を手伝ってくれました。また、英語で話しかけてくれた店員さんがいて、私は自分が歓迎され大切にされていると感じました。私にとって田村市の温かい対応や“親親の文化”に触れた最初の場所です。

私はアメリカのお店で5年近

く働いていました。多くの経験豊富なレジ係の人たちと働き、アメリカの大衆のために仕事をすることを楽しんでいました。

このことから、アメリカと日本のお店の異なる文化に気付くことは簡単でした。例えば、アメリカでは多くの店員さんは疲れていて少しストレスを感じているように見えますが、田村市のお店の店員さんはいつも元気で笑顔です。また、アメリカでは地元の人経営しているお店は少ないのですが、田村市は多いように思います。

そのため、田村市のお店の文化には、小都市で感じる人付き合いの良さがあります。お店の人はとても思いやりがあって、私の下手な日本語の練習に辛抱強く付き合ってくれます。市内にあるお店に行くのは楽しいです。

田村市にとって、お客様は大切な存在であり、お客様にそのことを気付かせることができる強いお店の文化があるのだと思います。

自分の経験から、お店の仕事は非常にストレスが多く、ペースが速いことを知っていました。が、今はこの親切さが田村市の



温かい対応の文化に深く染み込んでいることが分かりました。そして、この温かい対応の文化は、田村市を本当に特別な生活の場所にしていてと思います。

私は買い物をするのが楽しみで、レジ係の人たちの温かい対応に感謝することを忘れないようにしようと思っかけています。なぜなら、この人たちこそ、田村市をよく表していると思うからです。

田村市消費生活センター

事業者との契約や製品トラブルなど、消費生活に関するご相談に対応いたします。ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。電話と来所でご相談を受け付けています。

【受付】 午前9時～午後4時
(月～金、土日祝日を除く)

【電話】 0247-61-5009

【場所】 市民部 生活環境課内

たむら市政だより広告(有料)募集中

- 掲載位置 表紙・裏表紙を除く各ページの最下段
- 申込方法 所定の申込書に広告原稿を添えて提出
- 規格 1号広告…縦45.5mm×横170mm
2号広告…縦45.5mm×横82.5mm
- 広告料 1号広告…20,000円(1回)
2号広告…10,000円(1回)
- 締め切り 各号発行日(毎月1日)の20日前まで
- その他 詳しくは、経営戦略室 ☎81-2117へ